

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



超我の奉仕

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

## Weekly Report

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp http://rc.nagoya-seinan.org/

押し花講習会～ふれあい例会に先駆けて～

第527回例会No.33 平成18年3月23日(木)晴

ロータリーソング 「奉仕の理想」  
 出席報告 会員49名中30名出席  
 出席率 63.83% 出席計算人数47名  
 修正出席率 3月9日 93.62%  
 スピーカー 松崎晴己さん  
 ゲスト

## 会長挨拶

## 池井戸貞夫

皆さん「うらやむ、うらやましい」という言葉はご存じだと思います。この言葉の語源は、「心病む」と言われています。【今日の講師の松崎晴己さんの様になりたい。】という、あの人の様になりたいという思いが高じて、心が病気になることを言い、思いがけない形で引き起こされる様々な事件の底には、人をねたましく思う心があることが多いと言われています。

他方、「うらやむ」というとらえ方は無いという説もあります。それは人間だれ人の生命にも「桜梅桃李」の言葉に象徴される個性、才能が備わっている。そのかけがえのない宝を開き磨くところに、その人の価値の基準を置いているからである。それが他人を尊敬する生き方に通じると説いています。

こんな話があります。自暴自棄の毎日を送っていたある青年は周りの人々や環境をうらやんでいました。そして「皆が自分を認めてくれないから生きて行けない。とても苦しい。」とよく友人に話していたそうですが、ある先輩から「君にも君でなければ出来ない使命がある」といわれ、自分にも誰かのためする使命があるなど考えた事もなかった。この時ほど、「使命」という言葉が限りなく新鮮に心に響いた事は無かったと言っていました。今、彼は「幸福は自分自身で決まる。自分の心で決まる。強い心を持てば、自分の周囲の景色は一変する」と決めて、会社でも全てに一番の成績を上げているそうです。我が生命の限りない価値を見いだして、輝かせていくことが人生の最大の誇りではないでしょうか。 以上

## 次回例会のご案内

4月8日(木) 第529例会 例会変更

「名古屋港ローターアクトクラブ創立30周年式典」

## ニコBOX

津田初子さん(退会)

= ロータリーの友愛に謝し 梅清か =

本日は「押し花講習会」、押し花工房ローズ 松崎晴己さん宜しくお願ひします。池井戸会長、鈴原幹事、藤野、浮貝、水野、長谷川龍伸(敬称略)

川原さん 愛知県がんセンター付属のPETセンターに当方が指名されました。また、新入会員の松尾君を宜しくお願ひします。

大平さん 春の陽気に健康増進。港口ローターアクト30周年に参加しましょう。

中村さん 西南RC同窓生、三田氏 中田社長就任(内示)おめでとう。ニコBOX同志!

日下さん 4/6の例会を変更いたしました。4/8(土)名古屋港ローターアクトクラブ30周年記念式典に参加したいと思います。名鉄グランドホテル16:00からです。宜しくお願ひします。

桜の開花直前、いよいよ春本番ですね。そこでニコBOXへ。林、安江、中川(敬称略)

ワールドベースボールクラシック 日本優勝おめでとう。渡邊、磯部(敬称略)

本日合計 40,000円

## 表彰楯伝達

R Iロータリー財団からのベネファクター表彰楯を池井戸会長から服部凱治さんに伝達いたしました。



## 幹事報告

1. 次回例会前に「理事役員会(4/6から移行)」がございますので該当の方は宜しくお願ひします。
2. 本日18時より「第5回RIM」がございますので、ご出席の方は宜しくお願ひ致します。

社会奉仕卓話 = 押し花講習会 =

押し花工房ローズ 松崎晴己



ガバナー月信3月号より抜粋

ガバナーレポート

2760 地区ガバナー高橋治朗

先日、東京の第 2580 地区の地区大会に出席しました。昨年 10 月の当地区大会に古宮ガバナーご夫妻が来ていただいた返礼もかねて、ニューオータニでの 2 日間の大会に出たものです。日本のロータリー発祥の東京クラブを抱えた地区ということもあって、日本 34 地区ガバナーのうち実に 23 名が、全体では 2,500 名が出席された大変盛大なもので、いろいろと参考になりました。周辺地区のバスターガバナーや古いロータリアンの方々も多くお見掛けしました。今年の 6 月はコペンハーゲンとマルメで世界大会が行われますが、バルト海沿岸は 12~17 世紀にハンザ同盟を結成した舞台でした。東はロシアのノヴゴロド、北はスウェーデンのストックホルム、ノルウェーのベルゲン、西はロンドン、南はフランクフルト、ポーランドのクラカウに囲まれた、リューベックとハンブルクを中心とする自由都市の連合体でした。ハンザという言葉自体がルフトハンザ(ドイツの航空会社)で知られる様に部隊とか団体という意味ですが、この場合は

商人間の組合団体ということです。ギルドの一種であり、海外貿易商人のギルドでもあったわけです。最初のリューベック/ハンブルク同盟は 1230 年頃、北方貿易(毛皮、材木、穀物、海産物、塩等の生活必需品が多い)を中心に、お互いが自由に貿易出来る様な取り決めを行い、イギリス、オランダ、ロシア、ドイツ南部等の広い範囲に現在の FTA の様に広がり、その自由な貿易を阻害するものは、例え相手が国であってもハンザ同盟として経済封鎖(フランドルに対し)したり戦闘行為をもって対抗しました。デンマークとも 2 度に亘って交戦し、1362 年はハンザ同盟が敗北しましたが、1368 年にはコペンハーゲンを攻撃し荒らし回ったので、デンマークはハンザ同盟に和を請い平和条約を結びました。今では、都市連合または商人組合が国家権力と戦争をすることは考えられませんが、当時としては、北方貿易に従事する商人達は、生活必需品を安定して一般市民に供給しなければという義務感もあったであろうし、何よりも、それが妨害された場合には戦いも辞さないという気概を持っていたのでしょう。

最近、一部経済人の不祥事が時折話題となりますが、世のため人のためと言う正しい気持があれば、自分だけ良い思いをするという考えは少しでも無くなるのではないのでしょうか。地区大会での講話で挙げられた例として、タバコの吸殻が会社内に落ちていた時、それを見たロータリアンは何を考えるのでしょうか。とりあえず拾うでしょう。しかし、吸殻を捨てない様な社員を育てなければならぬと思って、職業倫理、徳性を磨くように社内教育を進めて行くのがロータリアンの本願ということです。良い波紋を広げれば、自分の周囲の人から少しずつ社会は変わって行くことでしょう。

06-07 年度ガバナーノミニー紹介



江崎柳節(小牧RC)

医療法人柳雪会江崎外科内科  
理事長  
外科医

経歴

- 1982 年 2 月 3 日 入会
- 1983 年 国際奉仕委員長
- 1989 年 職業奉仕委員長
- 1998 年 幹事
- 2001 年 会長エレクト
- 2002 年 会長
- 2003 年 地区クラブ奉仕副委員長
- 2004~05 年 地区クラブ奉仕委員長

ポールハリスフェロー、米山功労者、ベネファクター  
国際奉仕ガバナー特別賞(2002 年)